

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月14日		記入者		内線	3184
部 名	都市部	課 名	都市交通計画課	課長名	大村秀雄	
事務事業名	リニア中央新幹線整備促進事業					
予算上の事務事業名	リニア中央新幹線整備促進事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	33120		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政 策 名	第3章 利便性の高い公共交通網の確立をめざします					
基本施策名	第1節 利便性の高い公共交通網の確立				事業開始年度	
施 策 名	第2施策 利便性の高い公共交通網の整備				平成12年度	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分 啓発・広報・イベント ▼						
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
首都圏までの40km圏に位置し、広域中核都市を目指す本市にとって、リニア中央新幹線新駅の誘致は都市基盤整備を図る上でも重要であり、県期成同盟会と連携を図りながら、誘致活動に取り組んでいくものである。そのような中で、リニア中央新幹線の市内誘致を進めるにあたっての啓発活動の一環として、広くリニアモーターカーに対する理解を深めるため、「山梨リニア実験線試乗会」、「リニア中央新幹線パネル展」を実施する。				市内在住の小中学生と保護者 市民 15歳以上の市内在住者		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
山梨リニア実験線親子試乗会(7月26日) 参加者数 63組176人 リニア中央新幹線パネル・絵画展(10月2日・3日) 2日間 来場者数748人 山梨リニア実験線一般試乗会(3月24日) 参加者数 20組43人						
6 関連・類似事業や他市の状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県都市計画課で、リニアモーターカー親子試乗会を開催。 ・リニア中央エクスプレス建設促進期成同盟会(沿線の東京都、山梨県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、奈良県、大阪府、神奈川県で構成)が、国等に対し、中央新幹線の建設促進について要望活動等を行なっている。 ・リニア中央エクスプレス建設促進神奈川県期成同盟会(本市は市長が役員)が、国等に対し、要望活動等を行 						
7 事業費の推移 [単位:千円]						
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事 業 費	922	1,783	262	312	312	
一般財源	922	1,783	262	312	312	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	1,370	1,970	1,320	1,300	1,300	
事業コスト合計(a)	2,292	3,753	1,582	1,612	1,612	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	山梨リニア実験線親子試乗会			対象名称(単位)	参加者数	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	84	168	168	168	168	
対象数	41	166	176	180	180	
単位あたり経費(円)	2,049	1,012	955	933	933	
前年度比		0.49	0.94	0.98	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	参加者数(人)		指標式と指標の説明	定員に対する応募者数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	1,715.0	414.0	967.0			
目標	500.0	500.0	600.0	600.0	600.0	
目標達成度	3.43	0.83	1.61			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	試乗会及びパネル展に係るリニア啓発目標達成率(%)		指標式と指標の説明	参加した人の意見		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	90.0	95.0	98.0			
目標	80.0	80.0	80.0	85.0	85.0	
目標達成度	112.5	118.8	122.5			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		リニアの市内駅誘致につなげていくため、現段階では、引き続き市民啓発を行なう必要がある。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 試乗会の応募数が多いことから、定数を増員できるようにJR東海と調整していきたい。			14 課題として認識されたこと リニアモーター力に対する理解を深めるための啓発活動は、事業を推進するために必要であり、試乗会、パネル展は、今後も継続的に実施していきたい。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				